

# 主体的に社会の形成に参画する力を育てる社会科学習

公民的分野専門委員長 岐阜市立長森中学校 前島久恵

## 1 はじめに

昨年度まで、【価値に関する認識を形成する授業】において実践を進めた。成果と課題は以下の通りである。

### 「授業モデルの定着・発展・普及」について

- 『個人内の価値形成』から『集団での合意形成』の流れをベースに、教科書にある課題や地域的課題を取り上げ、授業実践を重ねることができた。
- 『集団での合意形成』に関わって、より多くの人々が納得するためにどんな方法があるのか、どんな条件があればよいのかなど、模索しながら思考を広げることができた。
- 『集団での合意形成』を図るために、合意する必然性をもたせ、その上でどのような方法や条件が必要なのかを明確にし、対話を通して妥協できる一致点を模索させていくことで、『合意形成』をめざしていく。

## 2 研究内容

【価値に関する認識を形成する授業】における重点

- ★授業モデルの定着・発展・普及
  - ・価値に関する認識の授業を教科書から考える
  - ・評価の充実  
(ねらいの明確化とルーブリック評価等の活用)
- ★認識を深める場の手立ての在り方
  - ・「留保条件の設定」による議論の成立(価値に関する話し合い)
  - ・合理的な意志決定をさせるための「事実の分析的検討」

### (1) 授業モデルの提案

「価値を形成する」には、①個人内の価値形成、②集団(班・学級)での合意形成の2ステップが必要となる。

#### ①『個人内の価値形成』

- 1 議論の設定…何が問題となっているのか。
- 2 視点の設定…どんな視点があるのか。
- 3 論点の整理・焦点化…誰のため、何のためにどうすればよいのか。何が特に大切なのか。(軽重)
- 4 立場の明確化…どの立場で考えるべきなのか。  
→これらを理解していく中で、自分がそう考えるに至った判断理由を明確にし、自分の考えの変容にも気づかせるようにする。

## 5 相互理解を踏まえた意思表明

【昨年度の実践を簡素化したもの】



### ②『集団(班・学級)での合意形成』

※今年度は特にここに重点を置く。

6 多数決・折り合い…より多くの人々が納得するためにはどんな方法があるのか

7 少数意見の尊重・留保条件…どんな条件があれば、少数意見の人たちも納得できるのか

※集団での合意形成には多数決が採られるからこそ、その多数決を意味のあるものにするために、「折り合いをつけること」と「留保条件を考える」ことを大切にしながら、合意形成まで至る授業モデルを開発していく。

### (2) 価値認識を深めるための手立て

価値認識を深めるための手立てとして、今年度は特に、『集団での合意形成』を図る授業モデルの提案をしていきたい。そのために、「折り合い」「留保条件」について考える場を設定しながら、「妥協できる一致点」を明確にし、集団の中で相互の理解を踏まえた意思決定をめざしていきたい。

その際、今日的な問題を取り扱いながら、判断基準を明確にし、妥協できる一致点を模索していく学習過程を仕組んでいきたいと考える。